

第60回 宮城県災害対策本部会議 議事要旨

1 日 時

平成23年4月20日 10時00分

2 場 所

県庁行政庁舎4階 庁議室

3 配布資料

第60回宮城県災害対策本部会議資料

4 議事要旨

○阿久津内閣府大臣政務官

・特になし。

○小野寺危機管理監

・被害状況について、死者は8,329人、行方不明者については、仙台市から報告があり、7,884人である。

・住家・非住家被害を計上した。引き続き調査中である。

・被害額等は、資料のとおり。

○今野総務部長

・前日からの変更なし。

○企画部

・前回からの変更なし。

○小泉環境生活部長

- ・福島第一原子力発電所に係るモニタリング結果について、殆ど横ばいの状態が続いているという状況である。

○岡部保健福祉部長

- ・震災孤児の状況について、七ヶ浜町で1名増加、合計51人である。
- ・避難所等における栄養ケアについて、災害対策基本法に基づき他県の管理栄養士91人の応援を受け、改善活動に従事している。
- ・活動ボランティア引き続き3千名を超える方々に活動いただいている。

○河端経済商工観光部長

- ・変更なし。

○千葉農林水産部長

- ・被害額の増額について、資料のとおり。

○橋本土木部長

- ・被害状況について、前日と変わりなし。
- ・宮城県管理道路の通行規制箇所の解除の見通しについて、資料のとおり。
- ・緊急輸送道路について、GW前に全面通行止めを解除し少なくとも片側交互通行を確保して、6月末までに規制解除する。
- ・その他道路について、6月末までに全面通行止めを解除し、少なくとも片側交互通行を確保し、年内には通行規制を解除する。
- ・規制箇所の6割が6月末に、約9割が年内に解除される見通しとなる。

- ・冬期間通行止め区間の解除予定について、蔵王エコーライン(県道白石上山線)や岩手・宮城県内陸地震で被災を受けた国道398号、県道築館栗駒公園線等の観光路線についても、復興に向けてGW前の4月28日に冬期閉鎖を解除する。

- ・セントラル自動車で生産された完成自動車の積み出しが4月21日から再開予定である。
- ・仙台空港について、4月21日より国内線8往復する。

○自衛隊

- ・学校復旧支援実施成果についての報告。

○竹内警察本部長

- ・ご遺体の状況について、累計で8,503体となっている。
- ・昨日遺体45体収容した。
- ・引き渡しの状況について、ご遺族に7,190体、市町村へ971体引き渡した。

○東北電力(株)

- ・停電世帯197戸減少。83,489戸、約6%の停電戸数である。

○小林教育長

- ・調査により被害額が減少した。
- ・校舎を使えない学校等で、再開場所が決定した学校については、資料のとおり。

○伊藤企業局長

- ・特になし。

○村井災害対策本部長

- ・工業用水道の復旧はどの位時間がかかるか。

○伊藤企業局長

- ・もう少々時間かかる見込み。

○村井災害差対策本部長

- ・宮城県災害対策本部会議について、政務官の皆さんは国会等で多忙になる為、外部機関の数值の変更は事務局へ、次回全員が揃うのは月曜日としたい。
- ・県と政府現地対策本部は通常どおり。

次回は4月21日10時00分に開催する。